

平成 30 年度 第 1 回浜田市保健医療福祉協議会 会議録

日 時	平成 30 年 8 月 10 日 (金) 18 : 30～20 : 00
場 所	浜田市役所 4 階 講堂
出席委員	竹原 茂央、川神 裕司、石黒 眞吾、木村 豪成、室崎 富恵、舩附 克己、眞邊 玲子、中山 隆、肥塚 由美子、岩田 博子、馬場 真由美、小笠原 詞子
欠席委員	齋藤 寛治、大谷 克雄 (代理出席：大島事務局長)、齋藤 暁子、吉村 安郎、山口 記由、竹内 俊介 (代理出席：杉谷健康増進課長)、永瀬 英昭 (代理出席：平田生活安全課長)、高橋 富子
事務局	健康福祉部長 前木 俊昭、地域福祉課長 井上 隆嗣、 地域医療対策課長 白根 麻美、統括保健師 湯浅 百合恵、健康長寿課長 久保 智子 子育て支援課長 河上 やすえ、保健予防係長 岩崎 久佳、専門技術員 紀 みどり 地域包括ケア推進係長 倉井 宏朗、子ども家庭相談係長 松山 直敬、 専門技術員 西川 純子、地域福祉係長 中谷美代恵、主任主事 大田 崇正
会議内容	<p>1 開会 (地域福祉課長)</p> <p>2 健康福祉部長あいさつ</p> <p>3 委員の委嘱について</p> <p>4 協議会委員・事務局員の自己紹介</p> <p>5 会長・副会長の選出 会 長＝民生児童委員協議会 会長 木村委員 副会長＝社会福祉協議会 会長 大谷委員</p> <p>6 議事</p> <p>(1)報告事項</p> <p>①浜田市在宅医療・介護連携支援センターの設置について ⇒事務局より、資料No.1について説明。 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための取り組みの一環として、在宅医療、介護サービス等の連携、協働を推進するよう、国が全国の自治体に平成 30 年度中の設置を求めたもの。健康長寿課内に地域包括支援センターと並列で開設する。</p> <p>【委員からの質問・意見】 (委員) (医療や介護の情報を) 皆さんに発信するとは、対象は。 (事務局) 医療、介護の事業所の方を対象としている。</p> <p>②浜田市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について ⇒事務局より、資料No.2について、各事業の実績、進捗状況、見直し内容などを説明。</p>

〔委員からの質問・意見〕

(委員) HPVワクチン接種の最近の状況はどうか。

(事務局) HPVワクチンは定期の予防接種であり無料で受けられるが、色々な副反応を起こしたということで、市からの積極的勧奨はしていない。

定期の予防接種であることには変わらないので、希望されれば無料で医療機関で受けられるようになっている。周知をしていないので、接種者はごく少ない状況。

(委員) 把握していない人もいるのか。

(事務局) 定期の予防接種以外だと市では把握できない。任意で受けている方もいる可能性はある。市では接種対象者を中学校1年生から高校1年生相当までの年齢としている。小学校6年生も法律上は対象になるので、事前に市へ連絡いただければ、接種できるようにしている。積極的勧奨はしないが希望されれば無料で接種が可能。

(委員) 積極的勧奨について、国が副反応の調査をしており結論が出ていない状況。リスクとベネフィットの比較は必要と思うが、国の検討会の結論が出ないことには、なかなか積極的勧奨に踏み切れないのでは。

(委員) 産後2週間健診について市の検討状況は。

(事務局) 江津市も交えて検討しているところ。産後1か月までの関わりでは、医療センターの助産師外来、市の赤ちゃん訪問、産後ケア事業を利用しながらお母さんの支援をし、現状を把握している。産後健診については、保健所にも情報をいただきながら、母親支援、子ども支援で重複しているところがあるので、検討しながら進めたいと思っている。新たな動きはない。

(委員) 小学校に就学するまでの段階では、子どもや親への支援が進んできていることを実感している。情報の把握に努められていて、その情報を共有する、そういったシステムも整いつつあると思う。お互いに協力しながら進めていき、子どもたちの健やかな成長を育むという視点でお願いできればと思っている。

(委員) 目標2の中で、保健師・助産師等の専門職員が相談を受け～とあるが、ここで母乳促進というのは市としては強く出していないのか。

(事務局) 母乳での子育てが難しいお母さんもおられ、全面的に出してはいない。母乳に関する悩みはたくさん持っておられるので、産後ケア事業で助産師に関わってもらったり、医療センターの助産師外来で相談を受けてもらったりし、その情報を共有しながら、保健師・看護師で継続して訪問する。母乳の事については、個々のお母さんの状況を見ながら推進していく。

保健師・看護師が赤ちゃん訪問を行い、母乳に関する相談を受けている。そこで母乳でのトラブルについて、専門的な支援が必要であれば、嘱託・パートの助産師が同伴して訪問したり、産後ケア事業を紹介させていただいたりしている。

(委員) 精神的なものが原因で母乳が出ないお母さんもおられるので、そういう面もチェックして指導していただきたいと思う。

(2) 協議事項

① 浜田市健康増進計画の推進に係る事業計画案について

⇒事務局より、**資料No.3**について説明。昨年度策定した健康増進計画・食育推進計画に掲げる事業を進めるため、特に生活習慣の改善を目指し、ウォーキングの

推進に重点的に取り組みたいと考えている。

【委員からの質問・意見】

(委員) 健康づくり指標で、5年間で悪化したものとして、「地域でのサロンや集会等のグループ活動に参加」や「地域の人とのつながりがあると感じている人」が記されている。自分はサロンをいくつか開いているが、自治会が動いてくれない限りは、一人一人に声をかけていくというのは難しいし、高齢者サロンなどは特に男性が少ない。福祉センターで行っている教室などには集まっておられるが、やはり地域での集まりというのは必要と思う。そういったところへの指導、依頼をしていただけたらと思う。

(委員) 体制整備事業でコーディネーターが設置され、積極的に動いておられるので、サロンなどは増えているような気がするが、パーセンテージは下がっているのか。新しいサロンが増え、これからは期待ができる。

(事務局) このアンケートは、高齢者だけでなく、18歳以上から80歳未満の方を対象としているため、回答された方で見ると数値的には下がっている。

確かに高齢者のサロンはたくさん立ち上がっている。健康長寿課とも一緒に集いの場を増やしたいと思っている。コーディネーターとも一緒に取り組みたい。

またその他の若い世代や、子育てサロンもある。色々な場を増やすことが必要と考えている。

(委員) 若い人、壮年期の働く世代が脳卒中や糖尿病で早く亡くなられるというのが課題だろうと思う。

1日8000歩を目指すというのは運動としてはいいと思う。高齢者は比較的意識が高いように感じるが、若い人達に意識を高めてもらう仕掛けを。具体的には難しいが、非常に期待している。

(委員) これは食育推進ネットワークと連動しているのか。保育園の連盟では市の目標を取り入れるようにしているが、市の栄養士も保育園に来てもらいたいのので協力をお願いします。

(委員) 1日8000歩というのは地域の機運づくりに効果的と思う。地域で高齢者や中高年は割と意識的に健康づくりに取り組んでいるが、まだまだ職場、産業保健の分野で十分でない。保健所を中心とした産業保健の関わりなどは少しずつ進んでいると伺っているが、市として商工会議所ともっと連携を取っていくと運動が進むのではないかと思う。ぜひその点をお願いしたい。

(委員) 体操に取り組もうとある。以前に保健師が進めていたのは、いのちの貯蓄体操だと思うが、それが最近では百歳体操になった。そういったときには、地域で体操を指導している私たちにも情報をいただくと、それを勉強して指導するのでよろしくをお願いします。

※この件について、拍手で了承された。

②浜田市自死対策計画の策定について

⇒事務局より、[資料No.4](#)について説明。自殺対策基本法に基づき、市の計画策定が義務付けられた。

9月に専門部会を立ち上げ、12月には素案を策定し、保健医療福祉協議会に諮った後、パブリックコメントを実施し、3月までに策定したいと考えている。

〔委員からの質問・意見〕

(委員) 計画の策定なので、具体的な事はこれからだと思うが、自分も職場や心理相談をする場で、医療機関に行くまでにすごく時間がかかり、なかなか行けないという現状がすごく多い。以前に引きこもりの方の話をしたが、病院を受診するまでのハードルがすごく高く、本当に緊急性がある時には精神科の先生に往診してもらえないだろうかと感じている。

計画は立つと思うが、より現場に沿い、現実的な動きができるような内容にしていただくと非常に助かる。

また夜間に、電話してくださいと言ってもなかなか来ないのが現実。職場の中でも3分の1くらいの方がストレスを抱えていて、蓋を開けてみると色々な問題が出てくるというのがあるくらいなので、おそらく一般の地域の方の中では、自分で連絡をするというのはかなりハードルが高いのだろうと思う。どれだけ危険な方、心配な方に介入できるかというところを現実に沿ったようなやり方で具体的にあげてもらえると、もっと亡くられる方が減るのではないかと思う。

(事務局) 私たちか実感しているところと同じかなと思う。中には市のメールで相談をされる方もおられるが、相談を受ける体制づくりのところも重点的なところになると思うので検討していきたい。

(委員) この専門部会は策定後も継続していくイメージか、策定のみなのか、来年度以降の予定などは。圏域でも会議があるので、メンバーもかなり重複するのかなと思う。

(事務局) 専門部会は計画策定のみと考えている。その後は、圏域の会議等で数値や経過等を見ていきたい。

※この件について、拍手で了承された。

③浜田市子ども・子育て支援事業計画の改定及び専門部会の設置について
⇒事務局より、資料No.5-1～5-3について説明。

〔委員からの質問・意見〕

・なし

※この件について、拍手で了承された。

※会長による議事進行終了。

7 その他（連絡事項）

事務局より

・島根いのちの電話 公開講座の案内

8 閉会